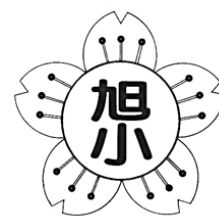


旭小学校

かわら版

学校通信

- ・すすんで学ぶ子
- ・きまりを守る子
- ・心身をきたえる子
- ・まじめに働く子
- ・なかよく協力する子



令和元年6月3号

あさひ小学校支援隊

旭小の子どもたちは、学校の内外でたくさんの地域の方々に助けていただいています。その主なものが「あさひ小学校支援隊」です。

5月11日(土)にあさひ農園の開園式と囲碁・将棋クラブの開講式が行われました。希望する児童と保護者がおよそ隔週土曜日に農園での作業体験や囲碁・将棋を教えてください。



あさひ農園

講師は、あさひ支援隊のみなさんです。農園担当のみなさんは、開園式以前から農園の手入れや作物の管理をして下さっていて、初日に早速カブなどの収穫をすることができました。参加した児童は、ブロッコリーなどの植え付けをしました。



囲碁・将棋クラブ

囲碁・将棋クラブは東別所住民センターで行われ、支援隊の方々の指導で囲碁と将棋をたのしみました。以前から参加している子どもたちはかなりの腕前の子もいました。初心者でもルールから教えていただけなので、終了する頃には、上手になると思います。

本校では、保護者だけでなく地域のボランティアグループのさまざまな方々にお世話になっています。現在は、登下校の見回り、農園の指導・管理、囲碁・将棋の指導、朝の読み聞かせ活動、図書室の環境整備、学習支援などさまざまな場面でご支援をいただいております。

学校の職員や家族だけでなく、なぜ地域の方々の応援が必要なのでしょう。



絵本の読み聞かせ



青パトでのパトロール

○ 子どもは地域で育つ

子どもたちが社会性を身に付けるためには、学校と家庭以外の人々との関係をもつ体験も必要となります。そのため、なるべくたくさんの方々との交流が望ましいです。多様な人間関係をもつことで人としての幅広さが身に付きます。

○ 子どもがのびのび生活できる地域

子どもが安心して伸び伸びと生活できる場所は、全ての人々にとって暮らしやすい地域です。子どもを中心に地域が結束している場所は、災害や犯罪への防御が強いといえます。

○ 子どもは地域の未来

子どもたちが明日のあさひ地区、太田市ひいては世界を担います。子どもたちを地域で守り育てることは、地域愛に満ちた良い社会を築く礎ともいえます。他人の子を育てているのではなく、未来を育てているわけです。

このような、考え方から、今年度本校では、「子育ての協働体として家庭・地域」を学校教育を充実させるための柱の一つとして考えています。地域や家庭との連携をより深め、共に手を取り合って子どもたちを育てて行きたいと思えます。

たくさんのご支援への感謝とともに、より一層のご協力をお願いいたします。



図書の修復や貸し出し

学習指導要領（学校で教える内容を定めたもの）

の改訂にともなう行事の見直し

来年度から新しい学習指導要領が本格実施となります。いくつかの教科・領域では、前倒しで実施されているものもあります。道徳や高学年の英語の教科化は話題になっていますが、その他にも評価や教科ごとの内容も一部変更になります。

これにともなって従来行われてきた行事の内容を昨年度末に見直し次のように変更しました。

○ 群読大会は廃止します。

○ 持久走大会は今年度までとし、来年度からは実施しません。

指導内容の変更で扱う単元が無くなったり、他の内容の時数が増えたりするため、大会に向けていた時間を他のものに置き換えるためです。

これまであった行事をやめるだけで無く、児童にとって新しい時代を迎えるための新たな活動も始めます。ご理解いただきますようお願いいたします。